

取組の柱《2》業務改善の更なる推進 授業時数の見直し（千葉県 南房総市）

千葉県南房総市では、長期休業日の期間と1週間あたりの授業時数を同時に見直すことによって、平常授業日における子供と教員のゆとりを生み出し、教育の質の向上につなげる取組を行っています。

平成29・30・31年度の学習指導要領の改訂により、小学校4年生以上の学年で、ほぼ毎日、6時間授業が行われている学校が多い。
※カリキュラム・オーバーロード（授業時数や学習内容等が多すぎる状態）が国際的にも問題になっている。

【参考】国立教育政策研究所（2022年）「諸外国の教育課程改革の動向」

子供も教員も
ゆとりがない

そこで、南房総市では、市内の小中学校でそれぞれが教育課程を工夫し、

教員の研修を充実し、教育の質を向上させたい

週2～3日「5時間授業」を設定

※現在は、長期休業期間を短縮し、
試行期間中

子供たちにも時間的
精神的な余裕をもっ
てほしい

「教員の働き方」を
改善したい



取組の成果

- 放課後、子供が友達どうしで遊ぶ機会が増えた
- 5時間授業の日に、昼休みを長くした学校があり、児童が喜んでいる
- 部活動の開始・終了時刻が繰り上がり、教員も生徒も生活にゆとりができた
- 放課後に地域ボランティア活動に参加する生徒が増えた
- 「教材研究」や「授業準備」の時間が確保された
- 勤務時間内に会議・研修を実施することができるようになった
- 教員の退勤時間が早くなっている



取組に関する詳細は
南房総市HPでご覧
いただけます

